



広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター主催

厚生労働省補助事業

第4回

2022年度 後期 リカレント研修会

「口腔感染症が影響する全身疾患 ～発見のきっかけは口臭かも～」

LIVE配信：2023年2月15日(水) 19:30～21:00

オンデマンド配信（録画視聴）：2023年2月20日(月)～2023年3月1日(水)



広島大学大学院医系科学研究科
歯周病態学研究室
助教 應原一久 先生

ご略歴

2001年 広島大学 歯学部歯学科 卒業
2005年 広島大学 大学院歯学研究科 博士課程 歯学系専攻 終了
2005年 日本学術振興会 特別研究員 (PD)
広島大学 大学院医歯薬学総合研究科 細菌学教室
2006年 日本学術振興会 特別研究員 (PD)
The Forsyth Institute, Department of Immunology
2008年 博士研究員
Harvard University School of Dental Medicine, Department of Oral Biology
2009年 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 歯周病態学分野 助教
2019年 広島大学大学院医系科学研究科 歯周病態学研究室 助教
広島大学病院 診療准教授

- 講演内容
- 歯周病と歯周病原細菌について
 - 歯周病が影響する全身疾患について
 - 口臭について

講演の要約

歯周病は歯周病原細菌が原因で、歯周組織が破壊される感染症です。種々ある歯周病原細菌のなかでも、*Porphyromonas gingivalis* (Pg)が歯周病だけでなく糖尿病、動脈硬化症、非アルコール性肝炎、関節リウマチ、慢性腎臓病、早産・低体重児出産、アルツハイマー病、パーキンソン病のような全身疾患と関係があることが報告されています。

また近年、持続的に口腔内から消化管経路で起こる腸内細菌叢の変化が全身疾患に影響すると報告されています。逆に糖尿病や、関節リウマチの治療を行うことで、歯周病が改善するとの報告もあり、双方向的に疾患が強く関係しています。Pgは歯周組織に炎症を引き起こす過程で様々な病原因子を分泌しますが、口臭の原因となる揮発性硫黄化合物 (VSC) も産生します。VSCは歯周組織の破壊だけでなく、患者さんと周囲のコミュニケーションにも影響します。

本研修会ではPgを含めた歯周病原因細菌と全身心疾患関係やPgなどが産生するVSCの産生経路・対策について解説し、歯科治療による口腔の健康が全身の健康に寄与できる可能性を紹介していきます。